

平成30年度倉吉市当初予算について

1 一般会計予算額等

- (1) 予算額 264億4,907万2千円
 (2) 比較 過去8番目（※旧関金町との合併（H17）以後）
 (3) 新規事業（事業内容の拡充を含む。）の数 43（※H29は61）
 ※ 主な事業は、「6 主な事業」のとおり。

- (4) 対前年度比較 (単位：千円・%)

区 分	H30 (A)	H29 (B)	増 減 (C=A-B)	増減率 (C/B)
一般会計（当初予算）	26,449,072	27,658,999	△1,209,927	△4.4

2 特徴

- (1) 市長選を控え、義務的経費を主体とした「骨格予算」
 (2) 震災からの復旧復興に係る事業を継続的に実施
 (3) “くらしよし”ふるさとビジョン（第11次倉吉市総合計画）と倉吉市未来いきいき総合戦略（地方版総合戦略）に掲げる事項の着実な実施

3 財政状況

- ・ 借金に当たる地方債の残高（一般会計・H30年度末見込み）は、300億9,109万1千円。H27年度以降引き続いて300億円超。
- ・ 貯金に当たる基金の残高（同）は、48億3,499万3千円。H28・H29の震災対応、この度（H30当初）の予算編成等に伴って、H27年度末の同残高54億8,153万9千円から△6億4,654万6千円。
- ・ 震災の対応等によって、非常に厳しい財政状況。

4 歳入の状況

- ・ 市税は、56億5,231万3千円（対H29年度当初（以下同じ。）+4,999万1千円・+0.9%）。法人市民税（税割）3億6,940万円（+6,310万円・+20.6%）など。
- ・ 地方交付税のうち普通交付税は、64億1,000万円（+1億5,000万円・+2.4%）。これは、H29当初での同交付税について、高齢者保健福祉費の単位費用の減の影響等を大きく見積もっていたことの反動による。ただし、地方交付税と臨時財政対策債をあわせた、実質的な地方交付税の総額は、79億8,217万5千円（+1,243万2千円・+0.2%）で、ほぼ横ばい。
- ・ 国庫支出金は、33億8,790万1千円（△4億2,068万8千円・△11.0%）。道路橋梁費補助金2億1,261万9千円（△2億7,698万1千円・△56.6%）、伝統的建造物群保存事業費補助金8,938万7千円（△5,061万3千円・△36.2%）、保育所等整備交付金6,226万2千円（+6,191万円・相当増）など（※皆減 地域住宅交付金△3,863万8千円、街なみ環境整備交付金△3,000万円など）。
- ・ 県支出金は、24億305万円（△2億4,747万8千円・△9.3%）。被災者住宅支援資金交付事業費

補助金 2 億7,027万円 (△ 2 億72万円・△42.6%)、工業団地再整備事業費補助金2,100万 5 千円 (+1,701万 6 千円・+426.6%) など (※皆減 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金△4,207万 8 千円、単県斜面崩壊復旧事業費補助金△2,411万 2 千円など)。

- 市債は、10億6,297万 5 千円 (△ 4 億1,846万 8 千円・△28.2%)。児童福祉債2,820万円 (皆増)、道路橋梁債 1 億8,200万円 (△ 1 億8,630万円・△50.6%)、災害復旧債4,100万円 (△6,150万円・△60.0%)、臨時財政対策債 (再掲) 7 億2,217万 5 千円 (△8,756万 8 千円・△10.8%) など (※皆減 社会福祉債△1,880万円、消防債△3,130万円など)。

(主な歳入の対前年度比較)

(単位：千円・%)

一般会計 (当初予算) 区 分	H30 (A)	H29 (B)	増 減 (C=A-B)	増減率 (C/B)
市税	5,652,313	5,602,322	49,991	0.9
地方交付税(ア)	7,260,000	7,160,000	100,000	1.4
分担金及び負担金	245,708	240,941	4,767	2.0
国庫支出金	3,387,901	3,808,589	△420,688	△11.0
県支出金	2,403,050	2,650,528	△247,478	△9.3
市債	1,062,975	1,481,443	△418,468	△28.2
うち臨時財政対策債(イ)	722,175	809,743	△87,568	△10.8
(再掲) (ア)+(イ)	7,982,175	7,969,743	12,432	0.2

5 歳出の状況

- 人件費は、37億3,372万 5 千円 (+2,020万 7 千円・+0.5%)。地方公務員共済組合等負担金 5 億3,207万 9 千円 (+2,706万円・+5.4%)、退職手当 2 億258万 6 千円 (△1,814万 7 千円・△8.2%)、特殊勤務手当187万 9 千円 (△1,092万 3 千円・△85.3%)、一般職給14億9,680万 3 千円 (△475万 1 千円・△0.3%) など。
- 扶助費は、59億7,119万 9 千円 (+3,582万 3 千円・+0.6%)。保育所運営16億8,006万 4 千円 (+9,953万 8 千円・+6.3%) など。
- 補助費等は、24億7,710万 6 千円 (△ 3 億9,335万 3 千円・△13.7%)。被災者住宅再建支援金 3 億30万円 (△ 2 億2,090万円・△42.4%)、地方バス路線維持対策費補助金 1 億2,215万 5 千円 (+1,071万 5 千円・+9.6%)、経営転換協力金交付事業費補助金950万円 (△1,320万円・△58.1%)、除雪機械運転手育成支援事業費補助金800万円 (皆増)、被災宅地擁壁等復旧費補助金1,637万円 (皆増)、鳥取県中部地震被災者向け民間賃貸住宅家賃補助金94万 4 千円 (△1,225万 6 千円・△92.8%)、学校業務支援システム負担金326万 1 千円 (△1,053万円・△76.4%)、教員加配用協力金2,000万円 (△2,300万円・△53.5%)、文化財保存・保護事業費補助金1,401万 7 千円 (+1,310万 3 千円・相当増) など (※皆減 企業立地促進補助金△7,785万 8 千円、事務管理関連雇用事業補助金△1,647万 1 千円など)。
- 普通建設事業費は、11億7,304万円 (△ 6 億7,631万 7 千円・△36.6%)。庁舎整備事業2,677万 4 千円、保育所運営9,339万 3 千円 (皆増)、土地改良 1 億2,846万円 (+6,345万 7 千円・+97.6%)、大谷工業団地再整備事業7,979万円 (皆増) など (※皆減 倉吉福祉センター修繕費助成事業△

2,591万円、鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業△4,883万4千円、単県斜面崩壊復旧事業△4,950万円、地域住宅交付金事業△7,980万9千円など。

- ・ 災害復旧事業費は、1億230万5千円（△5,430万8千円・△34.7%）（※鳥取県中部地震に係る事業がほぼ完了したため、相当減）。

6 主な事業 ※詳しくは、資料「平成30年度予算主な事業」を参照。【 】は、当該資料の該当頁。

(1) 震災からの復旧復興

- ・ 第2庁舎の整備 2,677万4千円 【4】
- ・ 被災者住宅再建支援金の給付 3億596万1千円 【4】
- (新)震災記録誌の作成 175万円 【5】
- ・ 総合防災訓練の実施 39万7千円 【6】
- ・ 打吹まつりによる復興アピール 500万円 【8】
- ・ 県外の移住希望者への働きかけ等 656万5千円 【9】
- ・ 広域観光の受入体制の充実 985万8千円 【12】
- ・ 中小企業の経営の安定化 10億6,032万6千円 【25】
- ・ 打吹地区の街なみの修景 1,400万円 【26】
- ・ 宅地擁壁の復旧の支援 1,637万円 【27】
- (新)下水道事業特別会計への繰出し（不明水対策等） 11億3,984万8千円 【29】
- ・ 被災者の賃貸住宅入居の支援 94万4千円 【30】
- ・ 伝統的建造物の修理等 1億2,769万5千円 【34】
- (新)被災した指定文化財の修繕の支援 385万3千円 【35】
- ・ 被災したくら用心の復旧 230万5千円 【35】
- ・ 山上憶良にちなむ短歌の募集による復興のアピール等 107万7千円 【36】

(2) いきいき働くことができるまち【産業】

- (新)観光施設（関金地区）の維持 1,331万4千円 【11】
- (新)情報発信等による観光誘客の促進 3,365万5千円 【12】
- ・ 大山開山1300年と連携した関金地区のブランディング 307万円 【13】
- ・ ポップカルチャーを活用した観光誘客 400万円 【13】
- (新)指定管理者による農村環境改善センターの運営 546万1千円 【20】
- (新)有害鳥獣による農林産物等への被害の防止 2,347万2千円 【20】
- ・ 新規就農者の就農定着等の支援 1,950万円 【21】
- (新)荒廃農地の利活用の促進 544万6千円 【21】
- ・ 鳥取和牛の増頭の支援 2,400万円 【22】
- (新)農業用施設の維持管理（県営事業に係るもの） 5,785万円 【22】
- (新)農業用施設の維持管理（市の直営事業に係るもの） 7,050万円 【23】
- (新)森林基幹道の整備 1,219万7千円 【24】
- (新)西倉吉工業団地の整備の拡充 1,426万2千円 【24】
- (新)大谷工業団地の整備の拡充 7,979万円 【25】

(3) いつまでも健やかに過ごせるまち【福祉・健康・人権】

- (新)人権問題の啓発推進 114万8千円 【14】

・ 生活困窮者の自立支援	2,493万7千円	【14】
(新) 児童扶養手当の給付	3億396万3千円	【15】
(新) 障がい児の移動、通所等に係る給付	7,983万2千円	【15】
(新) 放課後児童クラブ施設の整備	416万7千円	【16】
(新) 指定管理者による保育所運営	8,871万8千円	【16】
(新) 民間保育所の整備の支援	9,339万3千円	【17】
・ 病児・病後児への保育の提供	1,610万円	【17】
(新) 国民健康保険特別会計への繰出し	4億6,055万5千円	【18】
(新) 介護保険事業特別会計への繰出し	7億3,459万6千円	【18】
・ 不妊・不育治療費への助成	450万円	【19】
・ 妊産婦の出産後までにわたる総合的な支援	495万3千円	【19】
(4) 活力に満ち、豊かな心と文化が息づくまち【教育・文化・コミュニティ】		
(新) 地域おこし協力隊の配置等による地域課題の解決の推進	223万1千円	【7】
(新) 移住定住の促進	845万4千円	【8】
(新) 集落支援員の配置による地域課題への取組	1,155万5千円	【9】
(新) 倉吉未来中心の利便性の確保（駐車場誘導線等修繕）	278万9千円	【11】
・ 学習環境が整いにくい生徒の学習支援	120万円	【31】
(新) 通学困難な児童生徒の支援	385万4千円	【31】
(新) 補助教員の配置による複式学級の児童の学力定着	485万7千円	【32】
(新) 全国中学校ソフトボール大会の県中部地域での開催	61万7千円	【32】
(新) 同大会に対応した市営関金野球場の修繕等	300万円	【33】
(新) 市営野球場のバックスクリーン等の整備	825万2千円	【33】
(新) 小川氏庭園の保存修理の支援	1,006万4千円	【34】
(新) 前田寛治大賞展の開催	1,238万6千円	【36】
(新) 日本刀の祖・伯耆安綱にちなむ鳥取県の郷土刀の展示	177万2千円	【37】
(新) 特別展・山本二三展の開催	200万1千円	【37】
(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち【生活基盤・環境・防災】		
(新) 福祉避難所のための資機材の整備	70万4千円	【5】
(新) 地区防災計画の策定の支援	30万円	【6】
(新) ため池防災ハザードマップの作成	450万円	【23】
・ 駅北側街路の整備	1,695万1千円	【26】
・ 車両通行の円滑化等に資する道路の整備	8,380万円	【27】
・ 災害時の避難路として使用する道路の整備	4,332万円	【28】
・ 通学路の安全確保等のための道路の整備	3億600万円	【28】
(新) 県砂防事業と関連した水路の整備	350万円	【29】
(新) 空家等に係る安全の確保	50万円	【30】
(6) 行政経営の方針		
(新) 中国市長会の県内開催への対応	27万8千円	【7】
(新) PR強化によるふるさと納税の推進	1,775万円	【10】
・ ふるさと納税を活用した地域づくりのための財源の確保	5億4,000万円	【10】

(新)鳥取県知事選挙（平成31年度）の確実な執行	604万2千円 【38】
(新)鳥取県議会議員一般選挙（平成31年度）の確実な執行	184万9千円 【38】